

日本早期認知症学会誌

The Journal of
Japan Society for
Early Stage of
Dementia

第17回 日本早期認知症学会学術大会 in くまもと プログラム・抄録集

会 期：2016年9月17日(土)～18日(日)

会 場：鶴屋ホール、くまもと県民交流館パレア
ホテル日航熊本

大 会 長：小林 清市

同時開催学会：第21回 日本神経精神医学会
(会長 池田 学：大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室教授・熊本大学客員教授)

共 同 開 催：日本生体医工学会 BME on Dementia 研究会
臨床脳電位学会



2016 Vol.9 No.3



発行 日本早期認知症学会

学術大会参加者へのお知らせとお願い

I 会 期

日 時：2016年(平成28年)9月17日(土)～18日(日)

会 場：鶴屋ホール(熊本県熊本市中央区手取本町6番1号)
くまもと県民交流会館パレア(熊本県熊本市中央区手取本町8-9)
ホテル日航熊本(熊本県熊本市中央区上通町2-1)

II 参加者の皆様へ

参加の事前登録はありません。すべて当日受付デスクでの登録となります。

1. 参加受付

1) 受付会場：鶴屋ホール(7階)のエスカレータ前に設けております。

2) 受付時間：9月17日(土) 8:00～18:00
9月18日(日) 7:30～13:00

受付にて参加登録用紙に必要事項をご記入の上、参加費を添えてご提出ください。
引き換えにネームカード(領収証兼用)をお渡しいたします。

3) 参加費(当日登録のみ)

【区 分】	医師／歯科医師／鍼灸師	左記以外の医療従事者	
正会員	10,000円	5,000円	
非会員	11,000円	6,000円	抄録集別途※2
企 業			11,000円 抄録集別途※2
一 般			2,000円 抄録集別途※2
学 生			1,000円 抄録集別途※2

※1 学生の方は、受付にて学生証を提示してください。

大学院生、前期研修医の方は、医師としての受付となります。

※2 抄録集は学会誌(抄録号)となっており、非会員、企業、一般、学生の方には配布がありません。
購入ご希望の方は当日、総合受付で1部2,160円(税込)にてご購入ください。

2. プログラム・抄録集

会員の方は、事前に郵送したプログラム・抄録集(本号)をご持参ください。

会員以外の方は、1部2,160円にてご購入ください。

3. 懇親会

懇親会は9月17日(土)18:30より、ホテル日航熊本にて開催いたします。

『鍵盤の魔術師 テディ池谷 ピアノライブ』『Every Ring Stars ライブ』を予定しております。
是非ご参加ください。

懇親会会費は、3,000円です。参加ご希望の方は、受付会場の「懇親会参加受付」でお申し込みください。

4. 同時開催学会への参加

本学会参加者は、第21回日本神経精神医学会の一般演題を除くプログラムに参加できます。パレア10階にて本学会参加証をご提示ください。プログラムの詳細に関しては、下記ホームページをご参照ください。第21回日本神経精神医学会(www.c-linkage.co.jp/jna21/)

5. クローク

受付会場横にクロークを準備いたします。

- 1) 荷物は一つにまとめてください。貴重品や壊れやすいものなどはお預かりできませんので、自己管理をお願いいたします。
- 2) 懇親会参加の方は、懇親会会場（ホテル日航熊本）にておあずけください。
学会会場設置のクロークではお預かりいたしませんので、懇親会会場へご移動の際には、お手数ですがお持ちいただきますようお願いいたします。

6. ランチョンセミナー

9月17日（土）、18日（日）、お昼の時間帯はランチョンセミナーを予定しております。セミナーの整理券は、総合受付にご用意いたします。参加受付を済まされた方から順に配布いたします。セミナー会場入口でお弁当をお受け取りの上、ご入場ください。

7. モーニングセミナー

9月18日（日）の朝の時間帯にモーニングセミナーを予定しております。セミナーの整理券は、総合受付にご用意いたします。参加受付を済まされた方から順に配布いたします。セミナー会場入り口で軽食をお受け取りの上、ご入場ください。

8. 機器・書籍展示会

会期中、鶴屋ホールロビーにて展示いたします。

9. 認知症ケア専門士単位認定について

本学術大会に参加されますと、認知症ケア専門士の単位（3単位、発表者はプラス1単位）認定の申請ができます。申請を希望される方は、日本認知症ケア学会の規定に従いご自身で申請してください。

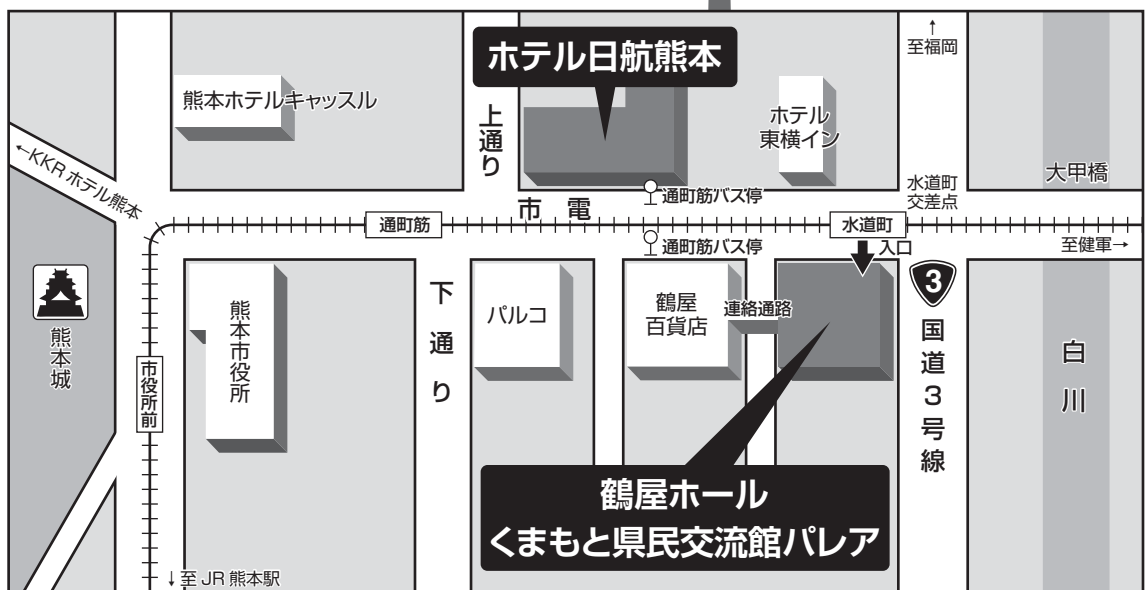
10. 会場内での諸注意

- ・会場内では、必ずネームカードをお付けください。
- ・会場では、ご来場の皆様の受動喫煙を防止するため、喫煙をご遠慮いただいております。
- ・セミナー会場、演題発表会場内では、携帯電話の電源を切るか、マナーモードに設定してください。各会場内での通話をご遠慮ください。
- ・会場内の呼び出し：原則として、会場内でのアナウンスによる呼び出しはいたしません。

11. その他

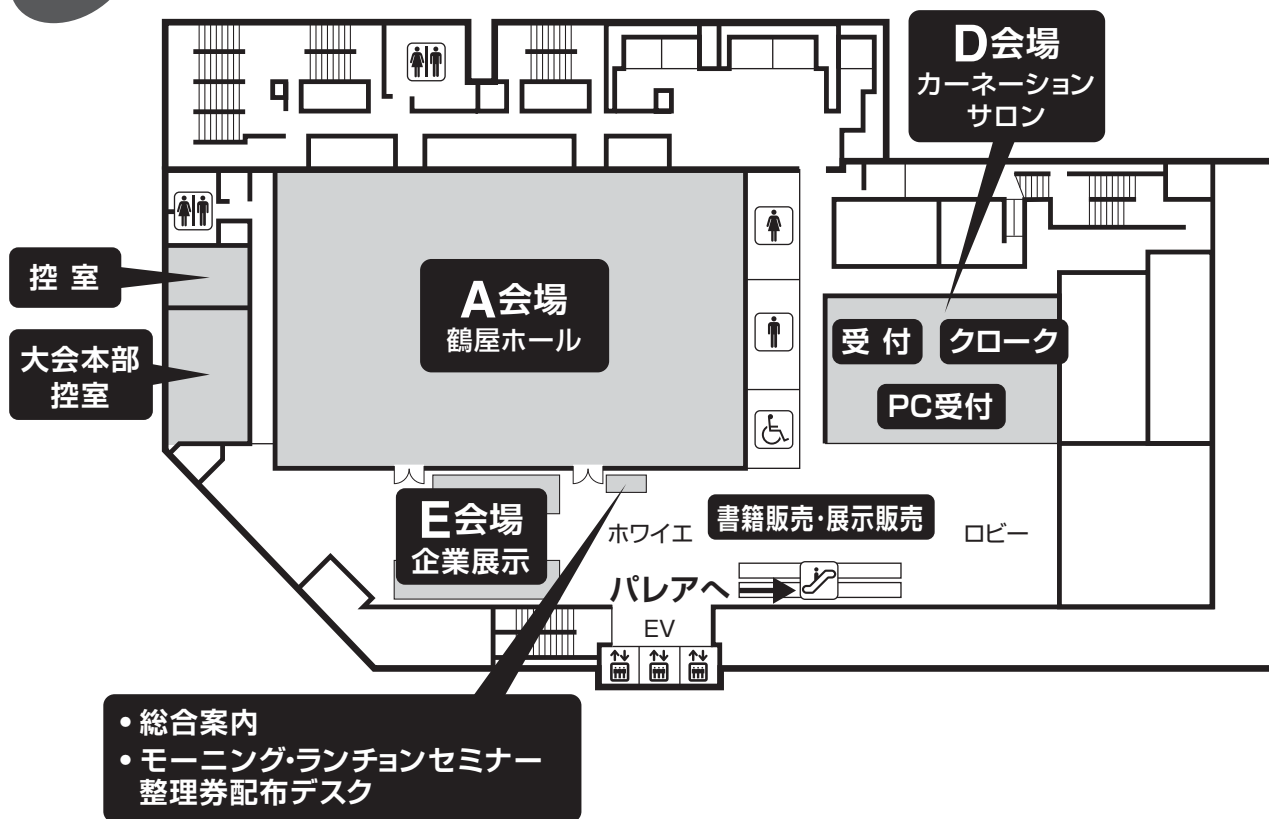
- 1) 入場後は「非常口」の確認をしてください。万一、事故発生の場合は係員の指示に従ってください。
- 2) 他学会の会場で、置き引きなどの被害が報告されています。
ご講演中も貴重品は常に携帯いただき、盗難には十分にご注意ください。
- 3) コピー：9階のB会場横、くまもと県民交流館パレア「パレアルーム」にてご利用いただけます。（有料）
- 4) インターネットサービス：無線LANの接続が可能です。接続先情報については当日、総合案内にてご案内いたします。

会場案内図



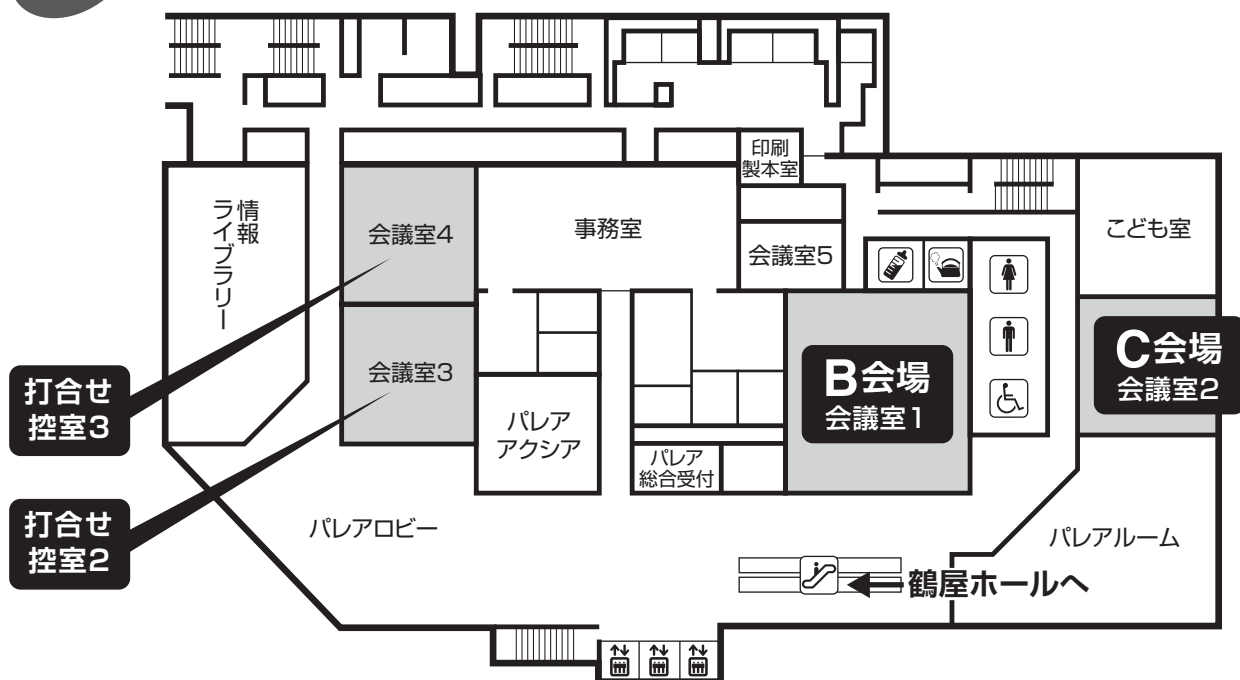
7F

鶴屋ホール(鶴屋百貨店東館)



9F

くまもと県民交流館パレア



1日目 9月17日土

	A会場 7F 鶴屋ホール	B会場 9F パレア会議室1	C会場 9F パレア会議室2	D会場 カーネーション サロン	E会場 ホワイエ
8:00				8:00	8:00
9:00				18:00	18:00
9:10～9:30	開 会 式				
9:30～10:20	特別講演Ⅰ 遺伝性アミロイドアンギオパチーと認知症 座長：藤岡 正導 演者：安東 由喜雄 共催：エーザイ株式会社	9:30～10:10 一般演題 アルツハイマー病 1 B-1-01～04 座長：石垣 泰則・湯浅 龍彦	9:30～10:20 一般演題 基盤・行政 1 C-1-01～05 座長：熊本 俊秀・由井 孝昌	受付・クロック・PC 受付	企業展示・書籍販売・物販
10:20～11:10	特別講演Ⅱ 認知症治療・介護に必要な法律の知識 座長：有本 之嗣 演者：日野 佳弘 共催：太陽生命保険(株)・三井生命保険(株)	10:15～10:55 一般演題 アルツハイマー病 2 B-1-05～08 座長：和泉 唯信・奥山 恵理子	10:30～11:20 一般演題 基盤・行政 2 C-1-06～10 座長：吉田 西子・篠原 豊明		
11:10～12:00	特別講演Ⅲ 認知症で発症する中枢神経系悪性リンパ腫: 早期認知症診断のピットフォール 座長：宮城 潤 演者：杉田 保雄 共催：(株)ウルグス・ユナイト・ジャパン	11:00～12:10 一般演題 リハビリテーション B-1-09～15 座長：山崎 雅勇 西 勝英	11:30～12:00 一般演題 基盤・その他 C-1-11～13 座長：齊藤 世以子・永田 美樹		
12:10～13:10	ランチョンセミナーⅠ 認知症と睡眠障害とのかかわり 座長：小林 清市 演者：内村 直尚 共催：武田薬品工業株式会社				
13:20～15:20	シンポジウムⅠ 認知症予防はどこまで可能か? 座長：篠原 豊明、熊本 俊秀 1. ボケてたまるか 認知症早期治療を実体験して 山本 朋史 2. 生活習慣病と認知症：久山町研究 吉田 大悟 3. 運動と認知症 田中 宏暁 4. MCI 400万人時代にどう対応するか? 朝田 隆	13:20～13:50 一般演題 歯科関連障害 B-1-16～18 座長：小林 由石子・小林 玲子 13:55～14:35 一般演題 早期診断 B-1-19～22 座長：曾山 直宏・佐藤 克也 共催：臨床脳電位学会 14:40～15:20 一般演題 関連疾患 1 B-1-23～26 座長：工藤 千秋・井上 信博	13:20～15:20 共同開催 日本生体医工学会 BME on Dementia 研究会 会長挨拶 志村 孚城 C-1-14～17		
15:30～16:20	日本早期認知症学会 代議員会・総会				
16:20～17:20	文化講演 認知症と協働 －地域の問題解決力強化の必要性－ 座長：西 勝英 演者：吉田 眞澄	16:30～17:20 一般演題 関連疾患 2・栄養 B-1-27～31 座長：和泉 唯信・杉田 保雄	16:30～17:20 一般演題 非薬物療法・検査 C-1-18～22 座長：宮城 潤・小林 清吉		
17:25～17:55	一般演題 脳血管性 A-1-01～03 座長：島本 宝哲・大島 扶美				
18:30～	会 員 懇 親 会 (次学会紹介) 会場：ホテル日航熊本 5F「阿蘇」				

2日目 9月18日(日)

	A会場 7F 鶴屋ホール	B会場 9F パレア会議室1	C会場 9F パレア会議室2	D会場 カーネーションサロン	E会場 ホワイエ
7:30					
8:00	8:00～9:00 モーニングセミナー 認知症をとりまく日本の環境について 座長：工藤 千秋 演者：新井 平伊 共催：ノバルティスファーマ株式会社			7:30 ～ 13:00	8:00 ～ 15:10
9:00	9:00～11:30 シンポジウムⅡ 認知症医療の問題点 ～多職種間に横たわる問題点 座長：佐藤 宏、中島 洋子	9:10～9:50 一般演題 看護・介護 1 B-2-01～04 座長：小山 幸代・大島 扶美		受付・クロック 受付・P C 受付	企業展示・書籍販売・物販
10:00	1. 医師から見た認知症医療の問題点 佐藤 宏 2. 認知症高齢者と共にある認知症ケアを目指して 山本 恵子 3. 薬剤師から見た認知症医療の問題点 稲葉 一郎 4. 社会福祉士から見た認知症医療の問題点 永田 美樹 5. 認知症初期集中支援チームの現状と課題 石川 智久	10:00～10:40 一般演題 看護・介護 2 B-2-05～08 座長：鈴木 みずえ・湯浅 龍彦			
11:00		10:45～11:25 一般演題 看護・介護 3 B-2-09～12 座長：山崎 雅勇・齊藤 裕毅			
12:00	11:40～12:40 ランチョンセミナーⅡ 認知症の病態と治療 座長：佐藤 克也 演者：宮嶋 裕明 共催：第一三共株式会社	11:40～12:40 ランチョンセミナーⅢ 元お笑い芸人から学ぶ 最強の医療コミュニケーション術「なんでやねん力」 演者：中山 真、中原 誠 共催：二プロ株式会社			
13:00	12:45～15:05 シンポジウムⅢ Treatable dementia (治療の期待できる認知症)の再考 座長：桑名 信匡、宮嶋 裕明	12:50～13:30 一般演題 看護・介護 4 B-2-13～16 座長：有本 之嗣・小林 由右子			
14:00	1. 神経内科の立場から 1) 認知症と間違われやすい病態 『treatable dementiaを見逃さない』 木村 成志 2) 危険因子を共有する脳卒中と認知症 平野 照之 2. 脳神経外科の立場から 1) 特発性正常圧水頭症～再考～ Total management 厚地 正道 2) 機能神経外科による認知症治療への期待 山田 和慶				
15:00	15:05～15:10 閉会の挨拶(大会長)				
	15:10～18:40 県民公開講座 第一部 八重子のハミングに寄せて 陽 信孝 第二部 肥後医育塾 早期認知症患者さんに寄り添って 座長：西 勝英				
16:00					
17:00	1. 早期認知症患者さんとうつ病 藤瀬 昇 2. 認知症患者さんについての行政からのお手伝い 松尾 俊司				
18:00	3. やさしく見守る－認知症患者さんの介護－ 今村 加代				

プログラム

特別講演

特別講演Ⅰ

9月17日(土) 9:30～10:20 A会場

座長：藤岡 正導（済生会みすみ病院 院長）

遺伝性アミロイドアンギオパチーと認知症

安東 由喜雄（熊本大学大学院生命科学研究部 脳・神経科学講座 神経内科学分野 教授）

共催：エーザイ株式会社

特別講演Ⅱ

9月17日(土) 10:20～11:10 A会場

座長：有本 之嗣（医療法人宗斉会 須波宗斉会病院 理事長）

認知症治療・介護に必要な法律の知識

日野 佳弘（日野総合法律事務所 弁護士・久留米大学法科大学院 教授）

共催：太陽生命保険株式会社・三井生命保険株式会社

特別講演Ⅲ

9月17日(土) 11:10～12:00 A会場

座長：宮城 潤（宮城脳神経外科クリニック 院長）

認知症で発症する中枢神経系悪性リンパ腫：早期認知症診断のピットフォール

杉田 保雄（久留米大学医学部病理学講座 教授）

共催：株式会社ウルヴズ・ユナイテッド・ジャパン

シンポジウム

シンポジウムⅠ

9月17日(土) 13:20～15:20 A会場

座長：篠原 豊明（医療法人甲府脳神経外科病院 理事長）

熊本 俊秀（九州看護福祉大学 教授、大分大学医学部 名誉教授）

〔 認知症予防はどこまで可能か？ 〕

S1-1 ボケてたまるか 認知症早期治療を実体験して

山本 朋史

(株)朝日新聞出版 週刊朝日編集部編集委員

S1-2 生活習慣病と認知症：久山町研究

吉田 大悟

九州大学大学院医学研究院 衛生・公衆衛生学分野 助教

S1-3 運動と認知症

田中 宏暁

福岡大学スポーツ科学部 教授・身体活動研究所 所長

S1-4 MCI 400万人時代にどう対応するか？

朝田 隆

東京医科歯科大学 脳統合機能研究センター 認知症研究部門 特任教授

シンポジウムⅡ

9月18日(日) 9:00～11:30 A会場

座長：佐藤 宏（佐藤クリニック 院長）

中島 洋子（久留米大学医学部看護学科老年看護学 教授）

〔 認知症医療の問題点 ～多職種間に横たわる問題点 〕

S2-1 医師から見た認知症医療の問題点

佐藤 宏

佐藤クリニック 院長

S2-2 認知症高齢者と共にある認知症ケアを目指して

山本 恵子

九州看護福祉大学看護学科老年看護学分野 教授

S2-3 薬剤師から見た認知症医療の問題点

稲葉 一郎

泗水中央薬局グループ (株)ハートフェルト 代表取締役

S2-4 社会福祉士から見た認知症医療の問題点

永田 美樹

社会福祉法人 共成舎 社会福祉士

S2-5 認知症初期集中支援チームの現状と課題

石川 智久

熊本大学大学院生命科学研究部 神経精神医学分野 助教

座長：桑名 信匡（国家公務員共済組合連合会 東京共済病院 院長）

宮嶋 裕明（浜松医科大学医学部 副学長、浜松医科大学医学部内科学第一講座 教授）

〔 Treatable dementia（治療の期待できる認知症）の再考 〕

1 神経内科の立場から

S3-1-1 認知症と間違われやすい病態『treatable dementia を見逃さない』

木村 成志

大分大学医学部神経内科学講座 准教授

S3-1-2 危険因子を共有する脳卒中と認知症

平野 照之

杏林大学医学部脳卒中医学 教授

2 脳神経外科の立場から

S3-2-1 特発性正常圧水頭症～再考～ Total management

厚地 正道

（医）慈風会 厚地脳神経外科病院 理事長・日本正常圧水頭症学会 理事

S3-2-2 機能神経外科による認知症治療への期待

山田 和慶

熊本大学医学部附属病院 機能神経外科先端医療寄附講座 特任教授

文化講演

文化講演

9月17日(土) 16:20～17:20 A会場

司会：西 勝英（医療法人丸田会 丸田病院 理事長、熊本大学医学部 名誉教授）

認知症と協働 ―地域の問題解決力強化の必要性―

吉田 眞澄（弁護士／京都弁護士会所属、元帯広畜産大学 理事・副学長）

県民公開講座

県民公開講座

9月18日(日) 15:10～18:40 A会場

第一部 「八重子のハミングに寄せて」

陽 信孝（金谷天満宮 宮司）

第二部 肥後医育塾

座長：西 勝英（医療法人丸田会 丸田病院 理事長、熊本大学医学部 名誉教授）

「早期認知症患者さんに寄り添って」

早期認知症患者さんとうつ病

藤瀬 昇

熊本大学医学部附属病院 神経精神科 講師

認知症患者さんについての行政からのお手伝い

松尾 俊司

熊本県 認知症対策・地域ケア推進課

やさしく見守る ―認知症患者さんの介護―

今村 加代

桜十字病院 看護部長

モーニングセミナー

モーニングセミナー

9月18日(日) 8:00～9:00 A会場

座長：工藤 千秋(くどうちあき脳神経外科クリニック 院長)

認知症をとりまく日本の環境について

新井 平伊(順天堂大学大学院 精神・行動科学 教授)

共催：ノバルティスファーマ株式会社

ランチョンセミナー

ランチョンセミナーⅠ

9月17日(土) 12:10～13:10 A会場

座長：小林 清市(医療法人 暁清会 小林脳神経外科 理事長・院長)

認知症と睡眠障害とのかかわり

—睡眠障害の改善が認知症の予防や治療につながる—

内村 直尚(久留米大学医学部 神経精神医学講座 教授)

共催：武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナーⅡ

9月18日(日) 11:40～12:40 A会場

座長：佐藤 克也(長崎大学医歯薬学総合研究科 運動障害リハビリテーション学 教授)

認知症の病態と治療

宮嶋 裕明(浜松医科大学医学部 副学長、浜松医科大学医学部内科学第一講座 教授)

共催：第一三共株式会社

ランチョンセミナーⅢ

9月18日(日) 11:40～12:40 B会場

元お笑い芸人から学ぶ 最強の医療コミュニケーション術 「なんでやねん力」

中山 真、中原 誠(株式会社 WMcommons)

共催：ニプロ株式会社

座長：島本 宝哲(島本脳神経外科医院 院長)
大島 扶美(医療法人社団悠愛会 理事長)

A-1-01 脳血管性認知症の早期検出に、高次脳機能障害スクリーニングテスト(Hibrid-STT)は有効か ―血行再建術前後における MoCA-J との比較―

○西 京子¹⁾、中村 和己²⁾、山口 泉¹⁾、兼松 康久¹⁾、里見 淳一郎¹⁾、永廣 信治¹⁾

1) 徳島大学 脳神経外科、2) 徳島大学 神経内科

A-1-02 経時的に画像所見を観察し得た脳アミロイドアンギオパチー関連白質脳症の一例

○佐藤 統子

山梨大学医学部附属病院 神経内科学講座

A-1-03 クロレラ食品は血管性認知症のリスク因子に関与するか ―血漿ホモシステインと血中ルテイン濃度への影響―

○藤島 雅基¹⁾、大西 真人¹⁾、荒川 ゆかり¹⁾、竹腰 英夫¹⁾、宮澤 陽夫²⁾

1) 株式会社サン・クロレラ、2) 東北大学未来科学技術共同研究センター(NICHe)

座長：石垣 泰則(医療法人社団泰平会 城西神経クリニック 理事長)
湯浅 龍彦(社会福祉法人社団木下会 鎌ヶ谷総合病院
千葉神経難病医療センター 難病内科 センター長)

B-1-01 アルツハイマー型認知症治療薬による脳血流量の変化

○井上 信博、冬田 修平、原田 幹雄

熊本脳神経外科病院

B-1-02 アルツハイマー病に対する人参養栄湯の臨床的有用性の検討

○工藤 千秋¹⁾²⁾、有田 龍太郎²⁾、岸 太一³⁾、阿相 皓晃²⁾

1) くどうちあき脳神経外科クリニック、2) 慶応義塾大学 漢方医学センター、3) 東邦大学医学部教育開発室

B-1-03 アルツハイマー病高齢者女性の剖検脳における性ホルモンレセプターの局在

○西田 直代¹⁾、檜垣 浩一¹⁾、木村 芳三¹⁾、水落 伸治¹⁾、杉田 保雄²⁾

1) 医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院病理診断科、2) 久留米大学医学部病理学講座

B-1-04 フェルラ酸の認知症予防に関する研究

○渡邊 知倫¹⁾、澤野 健史¹⁾、石井 有理²⁾

1) 株式会社ファンケル 総合研究所 ヘルスサイエンス研究センター 素材研究 G、2) 臨床研究 G

座長：和泉 唯信（徳島大学医学部神経内科 臨床教授）
奥山 恵理子（株式会社浜松人間科学研究所 代表）

B-1-05 認知症予防に対する当施設での取り組み

○正分 祐衣¹⁾²⁾³⁾

- 1) 株式会社 ソフトアップ J、2) 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター、
3) 社会医療法人 ペガサス 馬場記念病院

B-1-06 脳ぱちにより症状変化に気づいた一症例

○正分 祐衣¹⁾²⁾³⁾

- 1) 株式会社ソフトアップ J エントレリハ、2) 地方独立医療法人 りんくう総合医療センター、
3) 社会医療法人 ペガサス 馬場記念病院

B-1-07 MMSE で高値を示した認知症の症例

○大谷 堯広¹⁾、岡久 杏葉¹⁾、松本 裕美¹⁾、山下 旭¹⁾、吉岡 諒¹⁾、岡 恵子¹⁾、
野寺 敦子²⁾、西田 善彦²⁾、中村 和己³⁾、和泉 唯信³⁾

- 1) 医療法人いちえ会 伊月病院、2) 医療法人いちえ会 伊月病院 神経内科、3) 徳島大学病院 神経内科

B-1-08 開設8年経過した通所リハの認知症予防の実践

○稲山 靖弘、植田 浩次、松本 祥平、西 幸宏、谷 正人、石垣 恵一、藤田 園子
聖志会 渡辺病院

座長：山崎 雅勇（道東勤労者医療協会 協立すこやかクリニック 院長）
西 勝英（医療法人丸田会 丸田病院 理事長、熊本大学医学部 名誉教授）

B-1-09 回復期リハ病棟における集団リハの取り組み

○酒井 麻奈美、藤岡 正導、五十嵐 稔浩、財津 岳士、谷口 直也
社会福祉法人 恩賜財団 済生会みすみ病院

B-1-10 認知機能障害による歩容の変化

○大杉 紘徳¹⁾、村田 伸²⁾、矢田 幸博³⁾⁴⁾、岡村 祐一⁵⁾、張 淑珍⁵⁾、津田 彰⁶⁾

- 1) 城西国際大学 理学療法学科、2) 京都橘大学 理学療法学科、3) 筑波大学大学院 グローバル教育院、
4) 花王株式会社研究所、5) 久留米大学大学院 心理学研究科、6) 久留米大学 心理学科

B-1-11 活動意欲向上に至った統合失調症患者について —タッチパネル式のソフトウェアを用いた結果—

○佐々木 洋明¹⁾、重田 真志¹⁾、山川 雅史²⁾

- 1) 医療法人亀廣記念医学会 関西サナトリウム、2) 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター

B-1-12 初期もの忘れ外来患者の認知機能とアイタッチ2の関連性

○大久保 舞¹⁾、櫻 篤²⁾、西田 明日香¹⁾、松下 浩尚¹⁾、高橋 宏二郎¹⁾、石本 恵一¹⁾、
武田 将¹⁾

- 1) 社会医療法人愛仁会 高槻病院 技術部 リハビリテーション科、
2) 社会医療法人愛仁会 高槻病院 診療部 リハビリテーション科

B-1-13 若年期レビー小体型認知症患者への訪問リハビリテーション導入例 ～視空間認知面に著しい低下が見られる患者～

○鮫島 真

医療法人慈風会 厚地脳神経外科病院 ケアプラン相談センターかもしけ

B-1-14 認知症予防サロンの参加継続の効果に関する研究

○菅野 真紀¹⁾、奥山 恵理子¹⁾、山口 全代¹⁾、山田 花¹⁾、塩見 美奈子¹⁾、高柳 佳世子²⁾、
土井 利江²⁾、床波 京子²⁾、高見 位知子²⁾、笠原 洋子²⁾

1) 浜松人間科学研究所、2) ㈱創生、3) 創生 生体医工学研究所

B-1-15 運動の時間・質と転倒予防指標の関係

○土井 利江¹⁾、高見 位知子¹⁾、山田 暁²⁾、奥山 恵理子³⁾、石川 由貴子⁴⁾、
高柳 佳世子⁵⁾、志村 孚城⁵⁾

1) 創生 入野倶楽部、2) ユーシン、3) 浜松人間科学研究所、4) 創生 事業本部、5) 創生 生体医工学研究所

一般演題 [歯科関連障害]

9月17日(土) 13:20～13:50 B会場

座長：小林 由右子(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学)

小林 玲子(医療法人晩清会 小林脳神経外科 理事)

B-1-16 口腔ケアによる認知症患者の口腔内細菌数の変化と口腔ケアの大切さについて

○齊藤 世以子¹⁾、佐藤 結香¹⁾、岸谷 麻有¹⁾、小林 玲子¹⁾、小林 浩子²⁾、小林 暁史¹⁾

1) 医療法人晩清会 小林脳神経外科 歯科室、2) 株式会社チューケン 熊本支社

B-1-17 高齢者の歯科治療による意欲と生活の変化について

○齊藤 世以子、佐藤 結香、岸谷 麻有、小林 玲子、小林 暁史

医療法人晩清会 小林脳神経外科 歯科室

B-1-18 軽度認知機能障害を伴い、右側上顎歯肉癌に対する加療を行った1例

○宮坂 彩花¹⁾、福岡 大喜¹⁾、廣末 晃之¹⁾、尾木 秀直¹⁾、緒方 克守¹⁾、永田 将士¹⁾、
吉田 遼司¹⁾、平木 昭光¹⁾³⁾、篠原 正徳¹⁾²⁾、中山 秀樹¹⁾

1) 熊本大学大学院生命科学研究部 歯科口腔外科学分野、2) 伊東歯科口腔病院、

3) 福岡歯科大学 口腔・顎顔面外科学講座 口腔腫瘍学分野

一般演題 [早期診断] / 共催：臨床脳電位学会

9月17日(土) 13:55～14:35 B会場

座長：曾山 直宏(菊池中央病院 脳神経外科 副院長)

佐藤 克也(長崎大学医歯薬学総合研究科 運動障害リハビリテーション学 教授)

B-1-19 地域在住高齢者を対象とした認知症早期診の取り組み(臼杵市研究)

○中道 淳仁、木村 成志、後藤 恵、軸丸 美香、麻生 泰弘、花岡 拓哉、松原 悦朗

大分大学医学部神経内科学講座

B-1-20 自然な会話でできる TOP-Q は認知症の可能性の有無と介護度を予見する ～東京都大田区三医師会認知症検診2015例の結果より～

○工藤 千秋¹⁾²⁾、山口 晴保³⁾

1) くどうちあき脳神経外科クリニック、2) 東京都大田区三医師会認知症研究会、

3) 群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学講座

B-1-21 一般内科外来通院の高齢者における認知症の早期発見

○足立 克仁¹⁾、川井 尚臣²⁾、小川 哲也³⁾、湯浅 龍彦⁴⁾

1) 国立病院機構徳島病院、2) 町立日和佐診療所、3) 小川病院、

4) 鎌ヶ谷総合病院千葉神経難病医療センター・難病脳内科

B-1-22 NAT を用いた認知症の早期発見

○小林 洋平

株式会社脳機能研究所

一般演題 [関連疾患 1]

9月17日 14:40～15:20 B会場

座長：工藤 千秋（くどうちあき脳神経外科クリニック 院長）

井上 信博（熊本脳神経外科病院）

B-1-23 特発性正常圧水頭症の手術と患者の精神症状への対応

— 他科の医師との連携の必要性 —

○曾山 直宏

医療法人信岡会 菊池中央病院

B-1-24 特発性正常圧水頭症 (iNPH) に対する腰椎腹腔シャント術の治療成績

○村上 雅二、平田 好文、國徳 尚子、後藤 真一

熊本託麻台リハビリテーション病院 脳神経外科

B-1-25 家族性正常圧水頭症が疑われた一家系

○稲山 靖弘、渡辺 浩年

聖志会 渡辺病院

B-1-26 INPH を併発する認知症患者及びその家族に対するアプローチと

ケアマネジメントについて

○高橋 和孝¹⁾、厚地 正道²⁾

1) 株式会社さりかけす 居宅介護支援事業所 心と～kokoa～、2) 医療法人慈風会 厚地脳神経外科病院

一般演題 [関連疾患 2・栄養]

9月17日 16:30～17:20 B会場

座長：和泉 唯信（徳島大学医学部神経内科 臨床教授）

杉田 保雄（久留米大学医学部病理学講座 教授）

B-1-27 脳ドックで発見されたクロイツフェルト・ヤコブ病の1例

○佐藤 克也

長崎大学・医歯薬総合研究科・運動障害リハビリテーション学講座

B-1-28 Wernicke 脳症の3徴候を呈さない潜在的ビタミン B1 欠乏症に関する検討

○小阪 崇幸¹⁾²⁾、田北 智裕²⁾、安東 由喜雄¹⁾

1) 熊本大学大学院生命科学研究部 神経内科、2) 国立病院機構熊本医療センター 神経内科

B-1-29 筋萎縮性側索硬化症における前頭葉機能低下と脳萎縮部位との関連

○宮嶋 裕明¹⁾、寺田 達弘¹⁾²⁾⁴⁾、小尾 智一²⁾、溝口 功一³⁾、河野 智¹⁾、尾内 康臣⁴⁾

1) 浜松医科大学 医学部 内科学第一講座（消化器・腎臓・神経内科学分野）、

2) 静岡てんかん・神経医療センター、3) 静岡富士病院、4) 浜松医科大学 生体機能イメージング研究室

B-1-30 当院での髄液検査に関する取り組み

○小澤 雅貴、小笠原 卓也、金田 仁志、山口 大樹、沖野 慎治、布目谷 寛、沖野 光彦
旗の台脳神経外科病院

B-1-31 認知症に対するヘム鉄の効果 ～認知症における潜在性鉄欠乏性貧血の意義～

○工藤 千秋¹⁾²⁾、田平 武²⁾

1)くどうちあき脳神経外科クリニック、2)同クリニック 認知症早期診断、予防・治療センター

一般演題 [基盤・行政1]

9月17日(土) 9:30～10:20 C会場

座長：熊本 俊秀(九州看護福祉大学 教授、大分大学医学部 名誉教授)
由井 孝昌(由井行政書士事務所 所長)

C-1-01 あさぎり町の認知症初期集中支援チームの取り組みから、本町の認知症施策を考える

○吉田 酉子

熊本県あさぎり町役場 健康推進課

C-1-02 道東勤医協友の会の健康づくり活動について(第2報)

○山崎 雅勇¹⁾、高橋 滋²⁾、亀井 武²⁾

1)道東勤労者医療協会 協立すこやかクリニック、2)道東勤労者医療協会友の会連合会

C-1-03 高齢化社会の災害対策に見る健康な街づくりの可能性

○越智 小枝

相馬中央病院

C-1-04 超高齢者社会における財産管理と資産承継の課題

ー認知症リスクに備えた任意後見契約や家族信託等の検討ー

○由井 孝昌

由井行政書士事務所

C-1-05 高齢化時代における生命保険会社の役割と認知症治療保険の発売

○住谷 康平

太陽生命保険株式会社

一般演題 [基盤・行政2]

9月17日(土) 10:30～11:20 C会場

座長：吉田 酉子(あさぎり町役場 健康推進課)
篠原 豊明(医療法人篠原会 甲府脳神経外科病院 理事長)

C-1-06 介護フェアでのアンケート調査 免許返納について

○上野 真、鈴木 政輝、北澤 澄、篠原 豊明

医療法人篠原会 甲府脳神経外科病院

C-1-07 認知症早期受診の障害となる要因についての検討

ー地域住民へのインタビュー調査よりー

○越谷 美貴恵¹⁾、櫛橋 弘喜²⁾、奥 史佳¹⁾、永野 秀¹⁾、鶴田 和仁¹⁾

1)一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院、

2)一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団 介護老人保健施設 ひむか苑

C-1-08 軽度認知機能低下に関連する要因の検討 —行政と共同した地域在住高齢者に対する調査—

○植田 拓也¹⁾²⁾、柴 喜崇³⁾、安齋 紗保理⁴⁾、千葉 佳奈子⁵⁾、山上 徹也⁶⁾

1)医療法人社団涓泉会 山王リハビリ・クリニック、2)桜美林大学老年学総合研究所、
3)北里大学医療衛生学部、4)東京都健康長寿医療センター研究所、5)座間市健康部介護保険課、
6)群馬大学保健学研究科

C-1-09 改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)に関する介護支援専門員の意識調査

○越谷 美貴恵

一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院

C-1-10 人吉球磨地域における介護支援専門員へのアンケート結果から見る 今後必要とされる薬剤管理

○齊藤 裕毅¹⁾、齊藤 日早子²⁾、山下 まき子¹⁾、大山 竹彦³⁾、田中 千穂²⁾

1)株式会社アテナ ひまわり薬局、2)有限会社植柳調剤薬局 ひまわり薬局、3)株式会社アテナ 鬼木調剤薬局

一般演題 [基盤・その他]

9月17日 田 11:30～12:00 C会場

座長：齊藤 世以子(医療法人暁清会 小林脳神経外科 理事)
永田 美樹(社会福祉法人 共成舎 理事長)

C-1-11 屋外活動(機能訓練)による利用者の変化

○金子 まゆみ、里見 崇、東 和久

医療法人慈風会 厚地デイサービスセンターみま森

C-1-12 徘徊する認知症患者の探索 —GPS 付シューズの使用経験—

○河野 仁美、廣瀬 登希子、丸山 悌生、曹 睿、篠原 豊明

医療法人社団篠原会 甲府脳神経外科病院

C-1-13 認知症に対する鍼灸師の取り組み ～美容鍼灸と三焦鍼法～

○畠山 由香利

美容鍼灸の会 美真会

共催：日本生体医工学会 BME on Dementia 研究会

9月17日 田 13:20～15:20 B会場

C-1-14 足指間力強化運動の効果(2)

○高柳 佳世子¹⁾、土井 利江²⁾、高見 位知子²⁾、金原 一宏³⁾、大城 昌平⁴⁾、
奥山 恵理子⁵⁾、山田 暁⁶⁾、石川 由貴子⁷⁾、志村 孚城¹⁾

1)創生 生体医工学研究所、2)創生 入野倶楽部、
3)聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部理学療法学科、
4)聖隷クリストファー大学大学院リハビリテーション学科学研究科、
5)浜松人間科学研究所、6)ユーシン、7)創生 事業本部

座長：宮城 潤（宮城脳神経外科クリニック 院長）
小林 清吉（脳神経外科小林クリニック 院長）

C-1-18 眼底血流および血管内皮細胞増殖因子に与えるストレスフリー療法の効果

○石丸 圭荘、中島 琢磨、木原 和彦、松澤 孝司、並木 禎尚、了徳寺 健二
了徳寺大学・ストレスフリー療法研究センター

C-1-19 ITを利用した認知症予防プログラム 「脳若トレーニング」の効果と高齢者の社会参加について

○光岡 真里¹⁾、若松 直樹²⁾
1) 株式会社サムライト、
2) 新潟リハビリテーション大学医療学部リハビリテーション学科リハビリテーション心理学専攻

C-1-20 毎日3分。顔ヨガ美人習慣。キレイと元気は自分でつくる。自然健康長寿美顔法。

○鶴田 薫
顔ヨガ協会インターナショナル

C-1-21 初期のアルツハイマー型認知症における物語の認知的枠組みについて

○光戸 利奈¹⁾²⁾、錦織 翼¹⁾、辰川 和美¹⁾、橋本 優花里³⁾、宮谷 真人²⁾
1) 医療法人辰川会 山陽病院、2) 広島大学、3) 長崎県立大学

C-1-22 年代別健常者の高次脳機能障害スクリーニングテストの特性

○日岡 明美¹⁾²⁾、溝渕 佳史³⁾、中村 和己⁴⁾、多田 恵曜³⁾、牟礼 英生³⁾、西 京子³⁾、
北里 慶子³⁾、里見 淳一郎³⁾、永廣 信治³⁾
1) 徳島大学大学院 医科学教育部 医科学専攻、2) 徳島文理大学 保健福祉学部 理学療法学科、
3) 徳島大学病院 脳神経外科、4) 徳島大学病院 神経内科

座長：小山 幸代（北里大学看護学部 教授）
大島 扶美（医療法人社団悠愛会 理事長）

B-2-01 パーソン・センタード・ケアをめざした急性期病院における認知症看護研修 プログラムの検討：視聴覚教材（DVD）を用いたリフレクションの効果

○鈴木 みずえ¹⁾、吉村 浩美²⁾、金森 雅夫³⁾、長田 久雄⁴⁾
1) 浜松医科大学 臨床看護学講座、2) 聖隷三方原病院、3) 立命館大学、4) 桜美林大学大学院

B-2-02 急性期病院に入院する認知症患者に早期にケア介入を開始し BPSDの発症予防につながった一例

○今村 恵
大阪府済生会吹田病院

B-2-03 急性期病院における退院支援看護師育成

○原田 路可¹⁾、中山 悦子¹⁾、杉原 治美¹⁾、松下 恭子²⁾、久米 博子¹⁾、高開 登茂子¹⁾
1) 徳島大学病院 看護部、2) 徳島大学大学院医歯薬学研究部保健科学部門 地域看護学分野

B-2-04 一般病棟におけるデイケア導入の取り組み

○清水 弥生、浅野 貴代、杉野 真里、鈴木 弥生
大垣市民病院

座長：鈴木 みづえ（浜松医科大学 臨床看護学講座 教授）

湯浅 龍彦（社会福祉法人社団木下会 鎌ヶ谷総合病院
千葉神経難病医療センター 難病内科 センター長）**B-2-05 認知症者の本来感を高めるコミュニケーション・スキルの開発（第一報）**

—医療場面における認知症高齢者・家族と医師との相互行為の分析—

○千葉 京子¹⁾、小山 幸代²⁾、秋谷 直矩³⁾、小串 路恵⁴⁾、阿部 佳子⁵⁾、重島 祐介⁴⁾、
野村 あかり⁴⁾、上野 晶香⁴⁾1) 日本赤十字看護大学、2) 北里大学 看護学部、3) 山口大学 国際総合科学部、4) 生協浮間診療所、
5) 日吉慶友クリニック**B-2-06 認知症高齢者の生活行動を引き出すコミュニケーションスキルの検討（第3報）**

—役割を果たす行動が引き出せなかった場面の分析—

○小山 幸代¹⁾、千葉 京子²⁾、シェザード樽塚 まち子¹⁾、菅原 峰子³⁾、片井 美菜子¹⁾

1) 北里大学看護学部、2) 日本赤十字看護大学、3) 共立女子大学看護学部

B-2-07 長期療養中の患者における認知機能とサルコペニアの検討○大家 優樹¹⁾、熊本 俊秀¹⁾、古堅 裕章¹⁾、住吉 司郎²⁾、衛藤 光明³⁾

1) 九州看護福祉大学看護学科、2) 医療法人信和会 城ヶ崎病院、3) 医療法人信和会 介護老人保健施設 樹心台

B-2-08 ストーマ保有者に対する長期フォローアップの経過からみえる認知症発症時の特徴

○福嶋 智子、安藤 嘉子、遠藤 麻子

大阪赤十字病院

座長：山崎 雅勇（道東勤労者医療協会 協立すこやかクリニック 院長）

齊藤 裕毅（株式会社アテナ ひまわり薬局 代表）

B-2-09 認知症高齢者が住み慣れた場所で生活をするために

○増田 絵美

医療法人慈風会 厚地脳神経外科病院

B-2-10 地域を支える人材育成

～訪問看護師の認知症対応力向上を目指した取り組み 第1報～

○鈴木 弥生¹⁾、名賀石 志保²⁾、東 佐恵子³⁾、横田 知子⁴⁾1) 大垣市民病院、2) 特定医療法人博愛会 博愛会病院、3) JA 岐阜厚生連 揖斐厚生病院、
4) 朝日大学 保健医療学部看護学科 基礎看護学領域**B-2-11 在宅訪問服薬指導によりコンプライアンスの改善と残薬解消が出来た症例**○齊藤 日早子¹⁾²⁾³⁾、大坂間 奈津美²⁾、齊藤 裕毅¹⁾、山下 まき子¹⁾、大山 竹彦³⁾、
田中 千穂⁴⁾1) 株式会社アテナ ひまわり薬局、2) 株式会社アテナ たんぽぽ薬局、
3) 株式会社アテナ 鬼木調剤薬局、4) 有限会社植柳調剤薬局 ひまわり薬局**B-2-12 グループホームでの集団生活が困難となる患者様の支援**

～薬局薬剤師に出来ること～

○山下 まき子¹⁾、齊藤 日早子³⁾、齊藤 裕毅¹⁾、大山 竹彦²⁾、田中 千穂³⁾

1) 株式会社アテナ ひまわり薬局、2) 株式会社アテナ 鬼木調剤薬局、3) 有限会社植柳調剤薬局 ひまわり薬局

座長：有本 之嗣(医療法人宗斉会 須波宗斉会病院 理事長)

小林 由右子(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学)

B-2-13 皮膚の乾燥トラブルに対する正しいスキンケア指導について

○鹿島 結

第一三共ヘルスケア株式会社

B-2-14 小林脳神経外科での取り組み

～認知症患者の穏やかな生活とその患者を支える家族を支えたい～

○一橋 美香、宮原 俊彦、福山 茂、地内 直美、田中 由利恵、椎葉 綾花、府本 淳、
桑原 礼子、沖津 勝、永田 由似

医療法人暁清会 小林脳神経外科

**B-2-15 A クリニックもの忘れ外来における新患調査から、
この地域における患者の生活背景を捉え、早期認知症外来の役割を考察する**

○益子 奈々

道東勤医協 協立すこやかクリニック

B-2-16 認知症カフェ「ひだまり」の取り組みと課題

—「平成27年度浜松市認知症カフェ効果検証事業」より—

○奥山 恵理子¹⁾、菅野 真紀¹⁾、山口 全代¹⁾、塩見 美奈子¹⁾、山田 花¹⁾、高柳 佳世子²⁾、
伊藤 洋二⁵⁾、水野 修二⁴⁾、宮下 聖依³⁾、石川 ゆきこ²⁾

1) 浜松人間科学研究所、2) 創生 事業本部、3) 創生 佐鳴台倶楽部、4) 創生 入野倶楽部、
5) 創生 山の手倶楽部、6) 創生 生体医工学研究所